

我が如く、外より天の導きを見張り、その真理を明かし示す者こそ、器たるに相応しき者なり。

孔雀の尾羽根に誘われ、三色の三種の呪標を辿り、我らの存在を明かし、智の門を開くべし。それこそが顕現に至る儀式なり。

この儀式を用い、適正を示すならば、選ばれし者の心身に顕現し、我が意志を受ける。

されど、選に漏れし者は、いかなる救いもなく、間もなく、その命は果てるであらうことを忘れてはならぬ。

拝啓

はじめまして。この手紙を読んでいるということは、あなたが私たちの用意した舞台を演じ終わったということでしょう。

その努力と知恵に心から敬意を表します。

あなたは今、怒りや絶望を感じているかもしれませんが。自らの意志に反して、このような形で神へ捧げられることを、受け入れられないでしょう。しかし、これは決して無意味な犠牲ではありません。あなたが歩んできた道、その全てが、この瞬間に繋がっているのです。それは運命という名の大きな流れの中で避けることのできないものだった。

あなたの力は、これから私たちが築く新たな世界の礎となるでしょう。素晴らしい未来、人々はあなたの存在に感謝し、その犠牲を敬うことでしょう。結果がどうであれ、あなたが果たす役割は偉大なもののなのです。

幸あれかし

令和七年二月一日

二代目法眼

木村太郎